

一般社団法人北海道建築技術協会

平成30年度 事業実施報告書

令和元年5月23日

# 平成30年度事業実施報告

(自 平成30年4月1日～至 平成31年3月31日)

## 第1 建築に係る調査、研究、開発に関すること

### 1 特定専門研究委員会の設置等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

平成30年度は、以下の2つの研究委員会が活動した。

#### ・平成28年度設置

- ①「木質構造設計支援技術資料作成委員会」（委員長 平井卓郎氏、設置期間：平成30年2月～平成31年3月）

#### ・平成30年度設置

- ①「外断熱建物の温度性能および耐久性能調査委員会」（委員長 足立裕介氏、設置期間：平成30年8月～平成32年3月）

- ②「住宅換気スーパーバイザー育成プログラム検討委員会」（委員長 山本亜耕氏、設置期間：平成30年10月～平成32年3月）

「木質構造設計支援技術資料作成委員会」については、活動を終了した。

「外断熱建物の温度性能および耐久性能調査委員会」および「住宅換気スーパーバイザー育成プログラム検討委員会」は本年度も活動を継続する。

### 2 調査研究等の受託事業の実施（補助事業を含む）・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

平成30年度は、下記の3件の受託業務と1件の補助事業を実施した。

#### [受託事業]

- ①「札幌版次世代住宅性能評価業務」 (委託者：札幌市)

札幌市では、温暖化対策推進のため、独自の高断熱・高气密住宅の基準である「札幌版次世代住宅基準」を策定し、平成24年度から運用を開始した。

本業務は、建築主等が基準適合住宅の認定を受けるために札幌市に申請した申請書及び設計図書等について、「札幌版次世代住宅性能評価申請書の手引き」及び「札幌版次世代住宅基準技術解説書」に沿って審査を行うとともに、これに係る事業者等からの技術的な相談などに応じた。

期間：平成30年5月8日～平成31年3月29日

受託金額：2,230,200円

- ②「外断熱建物の温度性能および耐久性能調査」 (委託者：民間企業)

外断熱を施した公営住宅等の建物を対象に無暖房時の室内温度調査、外観調査、コアによる圧縮強度試験・中性化試験等を実施し、外断熱工法の各種効果を検証するため、受託委員会（外断熱建物の温度性能および耐久性能調査委員会が兼務）を設置し、業務を行った。この受託業務は本年度も実施する。

期間：平成30年6月11日～令和2年3月30日

受託金額：1,000,000円

- ③「S店舗建物耐震性等評価検討業務」 (委託者：民間企業)

民間企業からの委託により、平成30年北海道胆振東部地震により被災したS店舗建物につい

て簡易的な調査でわかる範囲の現状建物の耐震性等の評価を行い、店舗の営業に大きな支障を与えることなく行えることを前提に5年以内程度の延命を目的とした条件付き補強対策の提案を行うことについて受託委員会を設置し、業務を行った。

期間：平成30年10月29日～平成30年11月30日 受託金額：797,040円

[補助事業]

国土交通省「住宅建築技術国際展開支援事業(うち事業環境整備)」

国土交通省では、我が国の優れた住宅建築制度・基準、産業、技術を新興国等において展開・普及することにより、対象国の住宅建築水準の向上及び両国関係の強化を図るとともに、我が国の住宅建築産業の継続的成長に繋げることを目的に、新興国等の政府職員等を対象とする建築物の耐震・免震技術等に係る技術見学会、制度研修会、セミナー、ワークショップ等の企画・開催等を実施する事業者の支援している。

本事業では、コンクリートブロックが広く使われ地震や台風などの災害のたびにそれらを用いた建築物に大きな被害が生じているフィリピンを対象に、日本の優れた補強コンクリートブロック造の技術をフィリピン側に理解してもらうための現地セミナー、政府関係者とのワークショップ、現地事情の把握、また、日本国内での補強コンクリートブロック造の情報収集(東日本大震災時の津波に耐えた建物、沖縄県のブロック造の事情、ブロック造の歴史など)、ブロック造関連の海外規準書等の翻訳などを実施した。

期間：平成30年10月30日～平成31年3月15日 受託金額：7,000,000円

3 関係資料の収集・閲覧等 . . . . . 【継1事業】

メーソソリー建築研究会の活動他に資するため、「既存ブロック塀等の耐震診断規準・耐震改修設計指針・同解説」(一財)日本建築防災協会、2019年2月28日発行)を入手した。また、北海道大学工学部環境社会工学科建築都市コースの卒論生田中優雅さんによる当協会所有の補強コンクリートブロック造関連の資料閲覧があった。

第2 建築技術の普及・啓発に関すること

1 H o B E A フォーラム 2 0 1 9 の開催 . . . . . 【継1事業】

平成30年度は平成31年1月29日(火)札幌エルプラザ 3階 ホール(札幌市北区北8条西3丁目)において、「北海道の住宅と地震災害～被害を軽減する建築技術と住まい方～」をテーマに開催した。このフォーラムでは平成30年9月6日の北海道胆振東部地震で生じた住宅の地震災害を教訓として北海道の住まいの現状や問題点についてさまざまな視点から考えるパネルディスカッション形式での情報交換を行う事とした。コーディネーターには丸田絢子氏((株)丸田絢子建築設計事務所代表)を迎え、パネラーから「胆振東部地震の被災調査について」(戸松 誠氏:北総研)、「木造住宅の被災軽減へむけた提案」(平井卓郎氏)、「RCブロック造、RCブロック塀への対応」(米澤 稔氏)、「フェイルセーフの設計、暮らし方の重要性」(駒木根洋一氏)、「地震+ブラックアウト体験レポート」(丸田絢子

氏)、「家具による被害とその対策」(戸松 誠氏)、「戸建住宅の設備と防災対応」(山本亜耕氏)、「マンションの設備と防災対応」(佐藤潤平氏)などの話題提供がなされた。このフォーラムには、当協会々員をはじめ一般関係者を含めて、77名の参加があった。終了後にエルプラザ地下1階において懇親会が開催され、22名が参加した。

## 2 講演会、見学会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

### ①タウシュベツ橋梁見学会

平成30年5月11日(金)に上士幌町字ぬかびら源泉郷にある旧国鉄士幌線で使われたコンクリート造りのアーチ橋の一つで、タウシュベツ川に架かるタウシュベツ川橋梁(通称めがね橋)の見学会を免震レトロフィット工法研究会(東京)と合同で行った。当協会からの参加者は14名、免震レトロフィット工法研究会からの参加者は7名であった。

### ②メーソンリー現場見学会

平成30年8月7日(火)に南幌町の「みどり野きた住まいるヴィレッジ」内に建つ補強CB造の「カスタマイズできる家(設計山之内建築研究所、施工晃和住宅(株))」のほか、建築家と地域工務店がコラボした住宅4棟の見学会を行った。参加者は10名であった。

## 3 住宅リフォーム事業(補助事業を含む)・・・・・・・・・・・・・・・・・・【その他事業】

住宅リフォーム部会(部会長:安田敦司氏)を9月4日に開催し、活動内容の企画・実施を行った。また、平成20年5月に加入した「北海道住宅リフォーム推進協議会」について、当協会の石山会長が推進協議会の会長として活動を継続している。

今年度においては、事業者向けセミナーについては、テーマを「リフォームビジネスに役立つ4つの取組み・10の実践アプローチ」、消費者向けセミナーについては「リフォームで何ができる? 快適・健康な暮らし!」として実施した。これらのセミナー等は、北海道住宅リフォーム推進協議会と(一社)住宅リフォーム推進協議会の主催で開催され、企画・実施は協議会事務局である当協会が行った。

### [補助事業]

国交省:「住宅市場整備推進等事業(住宅ストック維持・向上促進事業)」

国土交通省では、健全な中古住宅・リフォーム市場の発展を図るため、良質な住宅ストックが市場において適正に評価され、消費者が住生活に関するニーズを的確に充足できる環境を整備する取組を支援している。

本事業は、住生活に関するニーズを一元的に受け付け、専門家が連携して多様な消費者のニーズに対して的確に助言・提案を行うサポート体制の整備を支援するもので、住宅リフォーム相談窓口の連携体制の維持、事業者向けセミナー、消費者向け住宅リフォームセミナーとリフォーム相談会、推進協議会ホームページの更新、推進協議会パンフレットの印刷などを実施した。この事業の一部を北海道住宅リフォーム推進協議会に「30年度北海道住宅リフォーム消費者相談窓口対応・相談会等開催事業」として委託した。委託金額は600,000円。

期間:平成30年7月2日~平成31年1月31日

受託金額:1,388,000円

	事業者向けセミナー	消費者向けセミナー	無料リフォーム相談会
主催	北海道住宅リフォーム推進協議会 (一社) 住宅リフォーム推進協議会		北海道住宅リフォーム推進協議会
日時	30. 11. 13	30. 12. 13	30. 10. 23
場所	北農健保会館 芭蕉	旭川市 コートホテル旭川 大会議室	札幌駅前通地下歩行空間北大通交差点広場 (東)
内容	長寿命化リフォーム セミナー「リフォーム ビジネスに役立つ4 つの取組み・10の実 践アプローチ」 (講師:松塚 智宏氏)	住宅リフォームセミナ ー「リフォームの進め 方・住まいと暮らしの充 実・減税制度などについ て」 (講師:宮下 進氏)	・弁護士:1名 ・一級建築士:2名 ・宅地建物取引士:1名 ・ファイナンシャルプランナー:1名 による個別相談
参加者	25名	23名	26名
備考			平成30年度たっけんライブラリー事業「不動 産無料相談会」と同時開催

#### 4 相談事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

平成20年度より実施してきたコンサルタント事業は相談業務に改称し、寒地建築研究所において実施することとした。本年度はマンションの天井ひび割れに関する相談事例があった。

#### 5 機関紙「会報 No15」の発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

当協会の機関紙「会報 No15」を平成31年1月に発行した。内容としては、5つの研究会がそれぞれの分野を受け持って構成する形を踏襲した。巻頭に当協会理事寒地建築研究所上席研究員駒木根洋一氏が「情報化時代の『災害』」と題する寄稿を掲載した。

各研究会が担当し構成した内容は次のとおりである。

##### ○メーソロジー建築研究会

- ・北海道内鉄道駅前の煉瓦造農業倉庫 国土交通省国土技術政策総合研究所 長谷川直司氏
- ・七飯町大中山小学校改築 (株)二本柳慶一建築研究所 川本 昭氏
- ・古くて新しい素材 山之内建築研究所 山之内裕一氏

##### ○外断熱建築研究会

- ・北米のパッシブハウス建築について (有)大橋建築設計室 大橋 周二氏
- ・スマートウエルネス事業「外断熱マンション改修事例」報告  
(株)アイテック 佐藤 潤平氏
- ・外断熱耐久性調査委員会報告

「外断熱改修後約30年が経過したRC造建築物の調査」 アーキインネクスト 平川 秀樹氏  
○建築診断研究会

- ・なぜ弾性接着剤張りタイルの剥離診断は難しいのか？  
メカニズムに基づく音の違いを基礎から考察した「人口知能つき打診棒」の開発

北海道大学 北垣 亮馬氏

○木質構造研究会

- ・木構造と木質構造  
木のまちに建てる木造が主役の小学校（北見市立留辺蘂小学校）

(株)北海道日設計 宮城 正弘氏

木質構造設計支援技術資料作成委員会のご紹介 北海学園大学 植松 武是氏

- ・CLTモデル実験棟「Hokkaido CLT Pavilion」

(株)遠藤建築アトリエ 代表取締役 遠藤謙一良氏

CLTに関する告示改正に関する情報 北海学園大学 植松 武是氏

○環境・設備・エネルギー研究会

- ・住宅換気スーパーバイザー育成プログラム検討委員会

山本亜耕建築設計事務所 山本 亜耕氏

北海道科学大学 福島 明氏

○協会認定事業・住宅リフォーム部会の活動

1. BIS認定事業
2. 北海道住宅リフォーム事業者登録制度
3. 北海道住宅検査人制度
4. 住宅リフォーム部会の活動
  - 1) リフォームに関する消費者・事業者への情報提供
  - 2) 国費による補助事業の申請

○会員広告

○事務局から

なお、例年協会会報には「会員紹介」のページを設け、掲載の法人会員から広告料をいただいているが、今回の会報No. 15には10社の紹介掲載を行った。

## 6 普及・啓発資料の作成・頒布等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

### ア 普及図書等の頒布

「住宅の断熱・換気その最前線2018」を新刊発行し、本年度からのB I S更新講習会で使用するとともに一般頒布も行った。既刊普及資料等の頒布状況は次のとおりである。

既刊普及資料の頒布 (主なもの)

「よくわかる！外断熱工法」	8冊
「RC造外断熱改修工法ハンドブック」	3冊

「RC造 外断熱の疑問に答える」	3 冊
「住まいの高性能リフォームの技術」	4 冊
「住まいの高性能リフォームの技術」 事例編	5 冊
「既存木造戸建住宅・現況調査と評価（住宅検査人登録講習会テキスト第3版）」講習会以外	2 冊
「北の住まいの熱環境計画2015（第2版）」講習会以外	43 冊
「住宅の断熱・換気その最前線」講習会以外	3 冊

## イ 各種研究委員会活動の成果等のフィードバック・・・・・・・・・・ 【継1事業】

特定専門研究委員会成果報告と法人会員企業の概要・製品・技術紹介が平成30年12月7日（木）14時45分から札幌エルプラザ環境研修室においてなされた。

- ・外断熱建物の温度性能および耐久性性能調査委員会（中間報告） 足立裕介委員長  
平川秀樹幹事
  - ・木質構造設計支援技術資料作成委員会（中間報告） 平井卓郎委員長
  - ・地震災害時におけるマンションの機能不全対処 (株)アイテック 佐藤 潤平氏
  - ・法人会員企業の概要・製品・技術紹介 株式会社キクザワ代表取締役 菊澤 里志氏
- また、研修会の終了後、17時15分から「北海道鮮魚店北口店」において、会員交流・忘年会を開催した。参加者は研修会に30名、交流忘年会に24名であった。

## 7 ホームページの充実・運用・・・・・・・・・・ 【継1事業】

平成17年に開設し、平成28年10月にリニューアルしたホームページについて、適宜情報の更新・追加を行ない、講演会・研修会・見学会などの行事について会員外への告知を積極的に行った。また、研修会・セミナー等の参加申込をWeb上で行うことの本格運用を始めた。

## 第3 建築技術者・技能者等の育成・認定・研修に関すること

### 1 B I S 認定事業の実施・・・・・・・・・・ 【その他事業】

B I S 認定事業について、今年度は下表のように認定制度運営委員会を1回、試験講習委員会を3回開催した。

委員会	回数	開催日	場所
B I S 認定制度運営委員会	第1回	平成31年2月7日	大五ビル会議室
B I S 試験講習委員会	第1回	平成30年4月26日	大五ビル会議室
	第2回	平成30年11月1日	大五ビル会議室
	第3回	平成31年2月7日	大五ビル会議室

B I S 資格者新規取得のための養成講習会は札幌市で 2 回実施したほか、昨年度に引き続き東北では盛岡市で実施した。認定試験は札幌市及び盛岡市で実施した。

B I S 有資格者のための更新講習会は道内で 5 回（札幌市 2 回、北見市・帯広市・旭川市各 1 回）実施したほか盛岡市でも実施した。また、平成 16 年度から始めた B I S - E の試験（書類試験・面接試験）はいずれも札幌市において 2 回実施した。

B I S、B I S - E 及び B I S - M 資格者は、平成 31 年 3 月 31 日現在それぞれ 1,204 名、93 名、466 名で合計 1,763 名である。

平成 30 年度 B I S 認定 講習会・試験等の実施日

行事名	B I S 更新講習会						B I S 養成講習会			B I S 認定試験		B I S - E 面接試験	
	北見市	帯広市	旭川市	札幌市 第 1 回	札幌市 第 2 回	盛岡市	札幌市 第 1 回	札幌市 第 2 回	盛岡市	札幌市	盛岡市	第 1 回	第 2 回
開催年月日	30.10.19	30.11.8	30.10.26	30.12.11	31.2.18	30.10.2	31.1.11	31.1.17	30.12.4	31.2.1		30.8.31	31.3.1
時間	9:30~12:30		13:30~16:30			9:30~12:00	9:30~17:00			13:30~16:00		9:00~12:00	
場所	北見市民会館 1号室	道新ホ ール帯 広 大会議 室	道北地 域旭川 地場産 業振興 センタ ー	北海 道 自 治 労 会 館 5 階 大 ホ ー ル	北海 道 自 治 労 会 館 5 階 大 ホ ー ル	盛岡市 総合ア リーナ 第1・2 会議室	北農健 保会館 エルム	北農健 保会館 大会議 室	アイ ーナ いわ て 県 民 情 報 交 流 セ ン タ ー	北海道 第二水 産ビル 8A会議 室	アイ ーナ いわ て 県 民 情 報 交 流 セ ン タ ー	大五ビル 2 階 会議室	
受講・ 受験者 数	74	41	77	158	178	29	40	39	32	76	26	5	9

2 住宅リフォーム事業者登録事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

北海道内における住宅リフォーム事業者登録制度については、平成21年2月より登録申請受け付けを開始し、3年毎の登録更新を行っている。平成31年3月31日現在、登録されている事業者は104社である。

3 北海道住宅検査人認定・登録事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

当協会は、北海道R住宅推進協議会が制度設計した既存住宅の現況調査と改修アドバイスを行う「北海道住宅検査人」の認定登録業務の実施機関に平成21年6月に指定された。また、国



土交通省による長期優良化リフォーム推進事業におけるインスペクターに当協会の住宅検査人制度を適合させ、国交省の補助事業に北海道住宅検査人が関与できるようインスペクター講習団体の募集に応募し、平成27年5月29日（登録日4月30日）に認定通知を受けた。

「既存住宅インスペクション・ガイドライン」（平成25年6月、国土交通省）に則った北海道検査人登録講習会を平成30年7月12日に札幌市において実施し、受講者は4名であった。また、更新講習会を平成30年11月27日に札幌市において実施し、更新受講者は1名であった。北海道住宅検査人更新講習の受講者は長期優良住宅化リフォーム推進事業におけるインスペクションを実施できる「登録インスペクター」としても登録された。なお、登録インスペクターである北海道住宅検査人が実施できる長期優良住宅化リフォーム推進事業でのインスペクションは平成32年3月までである。

平成31年3月31日現在の北海道住宅検査人登録者数は153名で、そのうち「登録インスペクター」は149名である。

#### 4 研修会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

##### ①構造力学セミナー

平成30年6月29日（金）にかでる2・7において、建築物の地震被害と地震時の構造物の挙動について復習しそれを理解するために必要な構造動力学を易しく解説したセミナーを、当協会会長の石山祐二先生を講師として開催した。参加者は72名であった。

##### ②外断熱研修会

平成30年7月13日（金）に札幌エルプラザにおいて会員向けの外断熱研修会を実施した。第1講ではJIA北海道支部コーディネーター代表代行 櫻井百子氏ほかによる「みどり野きた住まいのヴィレッジ・南幌での試み報告」、第2講では山本亜耕建築設計事務所 山本亜耕氏による「欧州換気システム視察報告」の講演が行われ、35名の参加があった。研修会終了後、サッポロビール園において懇親会が開催され、18名が参加した。

##### ③HoBEA技術セミナー

平成30年8月3日（金）リンナイ(株)北海道支店2階会議室において「スウェーデンの換気最新事情」をテーマに、スウェーデンの住宅換気の報告と住宅換気・空調設備のこれからを考えるセミナー・パネルトークが行われた。セミナーでは、当協会副会長の福島 明氏による趣旨説明、山本亜耕氏による「スウェーデンの換気の実情」、小川大輔氏による「機械換気技術の課題」の報告があり、その後、住宅施工者、換気実務専門家らを交えたディスカッションが行われた。56名の参加があった。

##### ④HoBEA木質構造セミナー

平成30年8月23日（木）北海道大学農学部N11講義室において、神谷文夫氏（セイホク(株)技師長）による「構造用合板による木造耐力壁、床・屋根構面の構造仕様と耐力性能」と題したセミナーが開催された。各種合板耐力壁（新築・耐震補強）仕様、厚物合板による床構面仕様、厚物合板＋登り梁形式による屋根構面仕様、中層・大規模建築における厚物合板の利用技術開発等についての解説と、北海道地域における木造耐力壁、床・屋根構面設計上の実務的課題や今後の方向について意見交換が行われた。参加者は72名であった。

⑤非破壊測定・検査機器勉強会

平成30年8月28日（火）会澤高圧コンクリート(株)において、非破壊測定・検査機器勉強会が開催された。3D計測関連では(株)守谷商会北海道支店 清水拓也氏と日本アビオニクス(株)高柳義尊氏を講師に、3Dレーザースキャナ・非接触動的対象物計測「モーションキャプチャ」・赤外線サーモグラフィーR500EXシリーズなどについて、コンクリート関係非機械検査装置ではエフティーエス(株) 藤原貴央氏を講師に、2次元鉄筋探査レーダーGPR Live (proceq社)・電磁誘導式鉄筋探査機プロフォメーター PM-650AI (proceq社)・超音波イメージスキャナ バンジット250アレイ (proceq社) などについて、一部、実機を使ったデモを交えながら機器の紹介を受けた。参加者は41名であった。

⑥技術セミナーin東北

平成30年10月2日（火）盛岡市総合アリーナ第1・2会議室において「住宅のイノベーションを探す」をテーマに、当協会副会長福島 明氏より「イノベーションを探すーイノベーションの大切さ・スウェーデンの換気最前線・断熱改修最前線ー」、三浦 眞オフィス 代表三浦 眞氏より「換気リノベ最前線ー最近の事例を中心としたリノベの実際ー」と題してセミナーが行われた。セミナーには56名の参加があり、同日午前に行われたBIS更新講習会の受講者も加わって、盛会であった。

⑦第2回 建物の総合診断医「ドクターG」

平成30年10月26日(金)に札幌エルプラザにおいて、NHKで放送している「総合診断医ドクターG」をヒントに、若手技術者とベテラン技術者、さらには会場の聴講者も加わって劣化症例や調査内容について考えていく「建物の総合診断医『ドクターG』」を昨年度に続き第2回目を実施した。今回はRC造建物の外部に生じた問題を取り上げた。また情報提供として会員であるコニシ(株)様から「外壁調査診断実務者資格者認定制度について」の報告がなされた。参加者は31名であった。

⑧木造住宅の耐久性に係るセミナー

平成30年11月27日（木）北農健保会館3階芭蕉において、北海道住宅検査人登録者及び建築技術者を対象とした研修会を開催した。この研修会は、既存木造戸建住宅の現況調査のほか屋根や構造躯体の新築・改修・点検・維持管理を行う場合の知識習得の一助となることを目的に平成28年度から始めたもので、第1講は(有)青山プリザーブ 前林 十三男氏による「害虫、菌類による家屋への影響および被害例」、第2講はINDI(株)東出 憲明氏による「サンフランシスコ近隣地域におけるインスペクションレポート」で、23名の参加があった。

5 見学会等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

- ①タウシュベツ橋梁見学会（再掲）
- ②メーソンリー現場見学会（再掲）

第4 関係機関、団体等との連携・協力に関すること

1 社団法人日本建築学会との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

日本建築学会北海道支部の構造専門委員会、材料施工専門委員会、環境工学専門委員会をはじめ、各種委員会等に当協会々員が委員等として参画した。

## 2 関係機関等との連携・協力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

従来から連携を図り、協力関係にあった国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所、地方独立行政法人北海道立総合研究機構北方建築総合研究所・林産試験場、北海道建築設計会議、一般社団法人全国建築コンクリートブロック工業会等と情報の交換、セミナー等の後援を行った。また、当協会では全国耐震ネットワーク委員会の会員となって全体委員会に出席している。

北海道建設部建築指導課主催の「全道住宅建築物耐震改修促進会議」、「赤れんが建築賞実行委員会」、「北海道空き家等対策連絡会議」、「民間住宅施策推進会議」などに委員として参画しているほか、道庁関係部との協力・連携を図った。

国土交通省の補助事業「住宅省エネ化推進体制強化事業」の実施機関である北海道木造住宅生産体制強化推進協議会（事務局：（一社）北海道ビルダーズ協会）に構成団体の一員として参画し、住宅省エネルギー講習会に係る業務で協力を図った。

## 第5 その他

### 1 会員の状況

平成30年度中における入・退会状況は、次のとおりである。

会員区分	30年度 期 首	期 中 移 動					30年度 期 末
		入会	退 会				
			任意 退会	10条1項 適用	10条4項 適用	その他	
法人A会員	60	1	3				58
法人B会員	7	0					7
個人会員	124	11	3			2	130
特別会員	1	2			1		2
計	192	14				9	197

### 2 会議の開催状況

平成30年度における会議の開催状況は、次のとおりである。

## 【定時総会】

平成30年5月31日（木）14時45分からホテル札幌ガーデンパレス 2階孔雀において、委任状を含め126会員の出席により開催され、平成29年度収支決算が承認され、平成29年度事業実施報告及び監査報告、公益目的支出計画実施報告、平成30年度事業計画報告及び予算報告がなされた。また、特別会員として2名（荒谷 登氏、川治正則氏）が推薦され提案どおり承認された。

## 【理事会】

平成30年度の理事会は、次のとおり4回開催された。

第1回定例理事会 平成30年5月8日（木曜日） ホテル札幌ガーデンパレス

（主な議事内容）

- イ. 平成29年度事業実施報告について
- ロ. 平成29年度収支決算報告について
- ハ. 平成29年度監査報告について
- ニ. 特別会員の推薦について
- ホ. 平成30年度定時総会の開催について
- ヘ. 平成30年度定時総会への提出議案について
- ト. 理事の辞任について

第2回定例理事会 平成30年10月17日（水曜日） ホテル札幌ガーデンパレス

（主な議事内容）

- イ. 新たな特定専門研究委員会の設置について
- ロ. 公益目的支出計画の延長について
- ハ. 国土交通省補助事業の応募について
- ホ. 受託事業の実施について

第3回定例理事会 平成31年1月15日（火曜日） ホテル札幌ガーデンパレス

（主な議事内容）

- イ. 公益目的支出計画の延長について
- ロ. 平成31年度総会について

第4回定例理事会 平成31年3月28日（木曜日） ホテル札幌ガーデンパレス

（主な議事内容）

- イ. 平成31年度事業計画（案）について
- ロ. 平成31年度予算（案）について
- ハ. 北海道建築技術協会規則の改廃について

## 【常任理事会】

平成30年度の常任理事会は、全てメール会議で次のとおり11回開催された。

第1回常任理事会（メール会議） 平成30年4月10日（木曜日）

第2回常任理事会（メール会議） 平成30年4月12日（木曜日）

第3回常任理事会（メール会議） 平成30年5月15日（火曜日）

第4回常任理事会（メール会議） 平成30年6月 5日（火曜日）

第5回常任理事会（メール会議） 平成30年6月14日（火曜日）  
第6回常任理事会（メール会議） 平成30年8月23日（木曜日）  
第8回常任理事会（メール会議） 平成30年10月6日（土曜日）  
第10回常任理事会（メール会議） 平成30年12月4日（火曜日）

（議事内容）

- ・新規会員の加入承認について

第7回常任理事会（メール会議） 平成30年9月25日（火曜日）

（議事内容）

- ・調査研究業務の受託について

第9回常任理事会（メール会議） 平成30年10月16日（火曜日）

（議事内容）

- ・耐震性評価業務の受託について

第11回常任理事会（メール会議） 平成31年2月26日（火曜日）

（議事内容）

- ・北海道建築技術協会規則の改正について

#### 【部会・研究会連絡会議】

第1回部会・研究会連絡会議 平成30年4月19日（木曜日）、協会事務所  
第2回部会・研究会連絡会議 平成30年6月14日（木曜日）、協会事務所  
第3回部会・研究会連絡会議 平成30年8月30日（火曜日）、協会事務所  
第4回部会・研究会連絡会議 平成30年10月11日（木曜日）、協会事務所  
第5回部会・研究会連絡会議 平成30年11月29日（木曜日）、協会事務所  
第6回部会・研究会連絡会議 平成31年2月12日（木曜日）、協会事務所

#### 【各研究会運営委員会・部会】

各研究会運営委員会、部会の開催状況の詳細は省略します。

- ・メーソンリー建築研究会
- ・外断熱建築研究会
- ・建築診断研究会
- ・木質構造研究会
- ・設備・環境・エネルギー研究会
- ・住宅リフォーム部会

以上